

グループ討議より一部紹介

- ・次世代への交代時期にきている。
- ・若い人の協力が欲しい。
- ・PRしているつもりでも参加者が気後れしている。
- ・スタッフが好きでやっている周囲の冷やかな目が悲しい。
- ・自治会へ協力の呼びかけが必要。
- ・中学生、高校生がウェイトレスをかって出ている。
- ・子ども会の協力がほしい。
- ・自治会イベントや行事と重ねて開催している。
- ・参加しづらい人へ出前喫茶を実施している。
- ・喫茶のコーヒーはプロが来て入れる。
- ・開催日が定まらず課題。・チラシを全戸配布。
- ・喫茶で昼食会するときだけ参加者が多い。
- ・地域が大きいので一箇所では出来ない。
- ・無理をしないことが大切だと感じた。
- ・取り組みの方法がヒントになった。
- ・社協からの助成金継続をお願いしたい。

や
まさき

取り組みのヒント発見!

ふれあい活動連絡会を開催

山崎支部では、3月5日(水)、穴栗防災センターにて、ふれあい活動(サロン・喫茶)の運営スタッフを対象にした連絡会を開催しました。

参加者72名が10グループに分かれ、「グループ運営の課題や成果・今後の取り組みについてグループ討議を行い

ました。



(山崎支部 春名豊滋)

い

ちのみや

在宅介護者の会

そよかぜに2度目の春



一宮在宅介護者の会「そよかぜ」がスタートして1年がたちました。

19年度は、茶話会その他に、ゲーム・フラワーアレンジなどのレクリエーション活動や、介護保険の勉強会・施設見学・介護者パワーアップ講座などの学習活動をしながら、助け合いや学び合いを深めてきました。

「そよかぜ」では、(介護が)しんどい、やめたい等という弱音や愚痴も本音で話せます。イライラしたことも、失敗談も、聞いてもらいたくなりま

会員募集中

毎月一回木曜日に活動しています。関心のある方は、ぜひ、社協までご連絡ください。



(一宮支部 日下奈津美)

また、会員同士の会話の中には、長時間外出するときのオムツのつけ方や、既製服を着脱しやすくする工夫など、介護のヒントになる具体的な話がたくさん出ています。

そこで今年度は、会員の「こうしたら良かったよ」という経験談を出し合い、介護のヒント集としてまとめることになりました。介護者ならではの視点と使いがたった親近感のあるヒント集になることを期待しています。